

グリーンインフラの計画・マネジメントの手法の提案

キーワード ランドスケープ計画／観光地域計画／流域／多主体の参加／地域創生

研究概要

激甚化する風水害への備え、脱炭素化の推進、長寿健康社会の実現といった社会的な課題を受け止めた上で、すべての人が自由で充実したライフスタイルを実現するための環境として、地域の環境と社会に調和した社会基盤「グリーンインフラストラクチャ」を構築することが求められています。

風景に感じる美しさの根底には自然と調和した生活により作り出される環境が存在します。本研究室は地域環境デザイン研究室として、地域のランドスケープを構成する自然や歴史・文化、人々の活動を調査し、流域を単位とした環境の回復と地方創生、非常時と平常時、日常と観光をつなぐグリーンインフラとして再構築する、地域環境の研究と提案を行います。

今後の展開やメッセージ

地域で活動するさまざまな主体と関わりながら、地域環境の計画・デザインといった実践的な活動とともに、研究の成果を地域に還元することに取り組んでいきたいと考えています。ぜひお気軽にお問い合わせください。

研究者情報



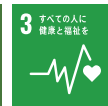
研究者情報URL

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/CAAAE.html>
<https://researchmap.jp/yukiko-ktgr>

片桐 由希子 准教授・博士(学術)

工学部 環境土木工学科

所属研究所：地域防災環境科学研究所、
KIT×KAJIMA 3D Printing Lab



中学生を対象とした地域づくりワークショップの実施



ワンちゃんも散歩もできるMAP



緑のまちづくりのまちづくり



暮らし体験型散策路の計画提案（企業との共同研究）



旧農業用水路のグリーンインフラとしてのポテンシャルの把握